

# お母さん達

新美南吉

青空文庫



お母<sup>かあ</sup>さんになつた小鳥<sup>ことり</sup>が木<sup>き</sup>の上<sup>うへ</sup>の巢<sup>す</sup>の中<sup>なか</sup>で卵<sup>たまご</sup>をあたたためてをりました。するとまた今日<sup>けふ</sup>も牝牛<sup>めうし</sup>がその下<sup>した</sup>へやつて來<sup>き</sup>ました。

「小鳥<sup>ことり</sup>さん、今日<sup>こんにち</sup>は。」と牝牛<sup>めうし</sup>がいひました。

「まだ卵<sup>たまご</sup>は孵<sup>かへ</sup>りませんか。」

「まだ孵<sup>かへ</sup>りません。」と小鳥<sup>ことり</sup>は答<sup>こた</sup>へていひました。

「あなたの赤<sup>あか</sup>ちやんはまだですか。」

「だんくお腹<sup>なか</sup>の中<sup>なか</sup>で大き<sup>おほ</sup>くなつてまゐります。もう十日<sup>とをか</sup>もしたら生<sup>うま</sup>れませう。」と牝牛<sup>めうし</sup>はいひました。

それから小鳥<sup>ことり</sup>と牝牛<sup>めうし</sup>はいつものやうにまだ生<sup>うま</sup>れてゐない自分<sup>じぶん</sup>たちの赤<sup>あか</sup>ん坊<sup>ぼう</sup>のことで、自慢<sup>じまん</sup>をしあひました。

「牝牛さん、聞いて下さい。私の可愛い坊や達はね。きつと美しい瑠璃色をしてゐて、薔薇の花みたいによい匂がしますよ。そして鈴をふるやうなよい聲でちるくと歌ひますよ。」

「私の坊やはね、蹄が二つに割れてゐて、毛色はぶちで尻つぽもちやんとついてゐて、私を呼ぶときは、もうくとつて可愛い聲で呼びますよ。」

「あら可笑しい。」と小鳥は笑ひをおさへていひました。

「もうくと可愛い聲ですつて。それに尻つぽなんか餘計なものよ。」

「何を仰有るのですか。」と牝牛も負けずにいひました。

「尻つぽが餘計なものなら、嘴なんかも餘計なものよ。」

こんな風ふうに話はなしをしてゐたら、お終しまひには喧嘩けんくわになつてしまひませう。ところが喧嘩けんくわにならない前まへに、一匹びきの蛙かへるが水みづの中なかからぴよんと跳とび出だして來きました。

「何をなにそんなにいつしやう一はな生なまけんめいに話はなしていらつしやるのですか。  
。」と緑みどりいろ色かへるの蛙きは聞ききました。そして、牝牛めうしと小鳥ことりからそのわけを聞きくと、蛙かへるは眼めをまんまるくして、

「それは大變たいへんよ。」といひました。何なにが大變たいへんなのか牝牛めうしと小鳥ことりが心しんぱい配かさうにきくと、蛙かへるはいひました。

「あなた方がたは赤あかちやんがもうぢき生うまれるといふのに、子守歌こもりうたを習ならひもしないで、そんな暢氣のんきなことを言いつていらつしやる。」

牝牛めうしと小鳥ことりは、どうしてこんなうつかりしてゐたのでせう。

早速さつそく子守歌こもりうたを習ならはなければなりません。ところで誰だれに習ならつたものでせう。

「ぢやあ、私わたしが教をしへてあげます。」と蛙かへるがいひました。牝牛めうしと小こ鳥とりは大變喜たいへんよろこんで、蛙かへるに子守歌こもりうたを教をしへて貰もらひました。

けれども、こんなにむづかしい子守歌こもりうたはありません。とてもむづかしくて牝牛めうしと小鳥ことりはちつとも覺おぼえられませんでした。それはかういふ子守歌こもりうたでした。

げつ げつ げつ

げろ げろ げつ

ぎやろ ぎやろ

げろ げろ

ぎやろ げろ げつ

牝牛めうしと小鳥ことりは、一いつしやう生なけんめいに習ならひましたが、それでも覺おぼ

えられないのでお終しまひにはいやになつてしまひました。けれど蛙かへるが、

「子守歌こもりうたを知らしないでどうして赤ん坊あかぼうが育そだてられませう。」と

いひますので、また元氣げんきを出だして、「げつ げつ げつ」と習ならふ

のでした。そしてそれは夕方ゆふがた、風かぜが涼すずしくなる頃ころまでつづきま

した。



# 青空文庫情報

底本：「校定 新美南吉全集第三巻」大日本図書

1980（昭和55）年7月31日初版第1刷発行

1992（平成4）年2月25日第4刷発行

初出：「幼稚園と家庭 毎日のお話」育英書院

1936（昭和11）年11月15日

※「可愛《かは》いい」と「可愛《かあい》い」の混在は底本の通りです。

入力：JUKI

校正：富田倫生

2012年5月24日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# お母さん達

新美南吉

2020年 7月13日 初版

## 奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>